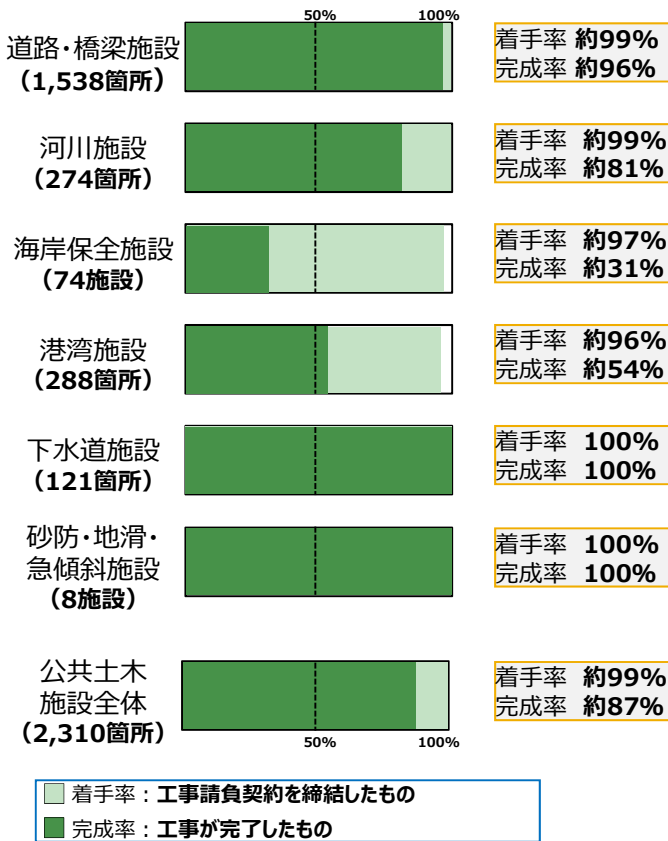


- ・復旧・復興事業の進捗状況【平成29年2月末現在】
- ・復興トピックス(平成28年11月～平成29年3月上旬)

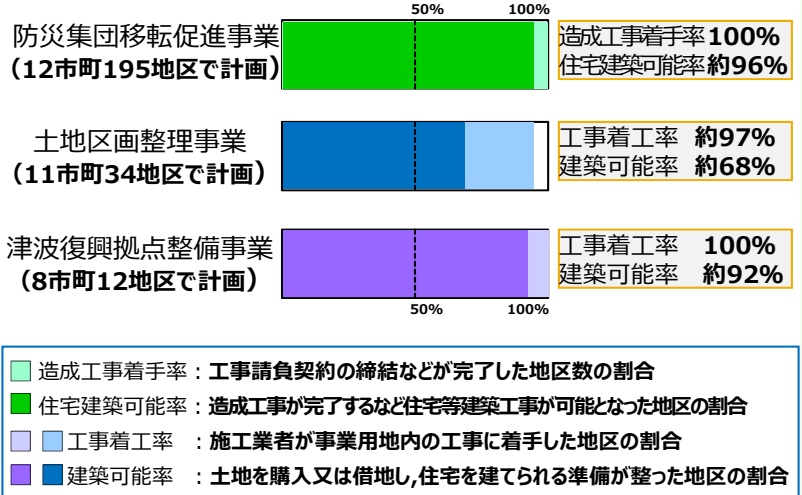


### 復旧・復興の進捗状況【平成29年2月末現在】

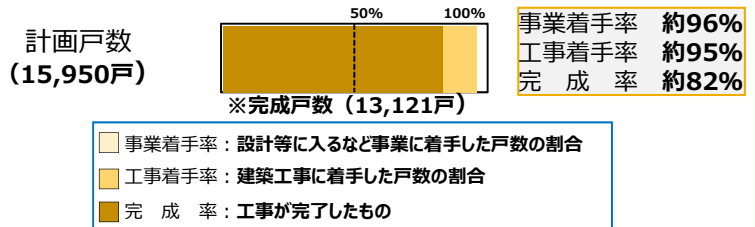
#### ●災害復旧工事の進捗状況



#### ●復興まちづくり事業の進捗状況

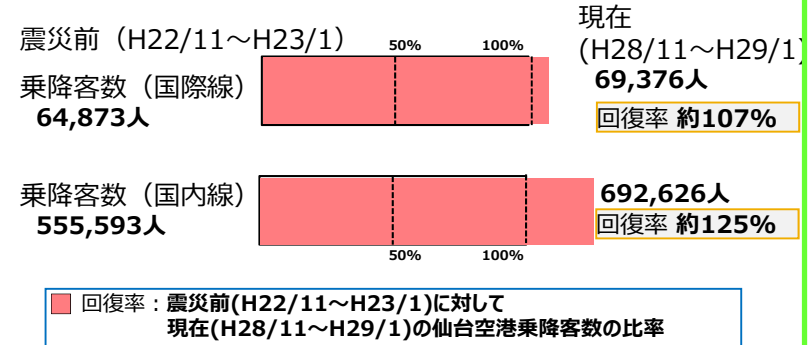
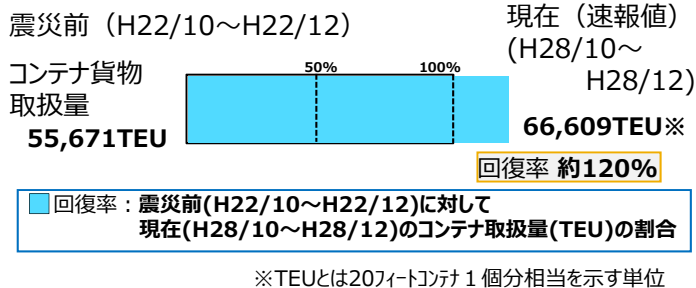


#### ●災害公営住宅の整備状況



#### ●仙台空港乗降客数の状況

#### ●仙台塩釜港（仙台港区）コンテナ貨物取扱量



▲宮城県では、毎月復興の進捗状況を取りまとめて公表しています。詳しくは下記URL又はQRコードを参照願います。

・震災復興・企画部震災復興政策課ホームページ「復興の進捗状況」

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/shintyoku.html>

・土木部土木総務課ホームページ「東日本大震災からの復旧・復興事業の進捗状況」

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/doboku-sintyoku-press.html>



# 復興トピックス (平成28年11月)

11月

## ●11/13 大島架橋本体工事 市民見学会開催

## ●11/14 仙台空港一福島・会津若松線 高速バス運航開始

仙台空港一福島・会津若松間で1日3往復の高速バスの運行が開始されました。仙台空港に乗り入れる定期高速バスとしては、民営化後第一号となります。

## ●11/16～18 復興まちづくりパネル展開催

## ●11/19 国道347号 通年通行化

## ●11/26 栗駒山系直轄砂防事業完成式

平成20年6月14日に発生した「岩手・宮城内陸地震」に伴う土砂災害に対し、岩手・宮城両県知事からの要請により、国(直轄)による土砂災害対策が進められ、このたび両県内のすべての土砂災害対策工事が完了となりました。これを記念し、完成式が執り行われました。

## ●11月13日 大島架橋本体工事 市民見学会開催

11月13日(日)、気仙沼市(三陸道・大島架橋・唐桑最短道整備促進課)と共催の現場見学会(気仙沼市民対象)を開催しました。大島架橋本体工事は、気仙沼商港岸壁の朝日埠頭にて上部工の地組を行っております。

今回の見学会では、アーチ部が完成に近づき、架設までまもなくという現場の状況を総勢444名もの市民の方々に間近で見学して頂きました。見学者からは、橋梁本体の大きさや工事説明に歓声や驚きの声が挙がり、大盛況のうちに終えることができました。



▲大島架橋事業についての工事の進捗状況については、気仙沼土木事務所ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-doboku/o-news.html>

## ●11月19日 国道347号 通年通行化

宮城県と山形県が整備を進めてきた、一般国道347号が平成28年12月から通年通行を開始することを記念し、式典が開催されました。

一般国道347号は県境の鍋越峠が狭隘・屈曲であることに加えて、県内でも有数の豪雪地帯であることから、これまで冬期間は峠を挟む17.7kmを通行止めとしていました。

今回の通年通行化により、両県の道路ネットワーク強化が図られるとともに、交流人口の拡大、雇用創出や観光振興などにもつながることが期待されています。



▲通年通行化までの事業の経過については、北部土木事務所ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-dbk/>

## ●11月16日～18日 東京都庁における みやぎの復興まちづくりパネル展開催

宮城県では、東日本大震災に伴って発生した津波により沿岸部を中心に壊滅的な被害を受けましたが、被災した市町では、国内外の多くの方々からのご支援を受け、総力を挙げて復興まちづくりに取り組んでいます。

これらの状況を広く知っていただくために、東京都庁において、震災の記憶の風化防止とこれまでのご支援に対する感謝の気持ちを込め、沿岸市町の復興状況を伝える「みやぎの復興まちづくりパネル展」を開催しました。



▲パネル展の状況や復興まちづくりの進捗状況については、復興まちづくり推進室ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukumachi/>

# 復興トピックス（平成28年12月～平成29年1月）

12月

## ●12/3 一般県道出島線(出島工区) 開通

## ●12/10 都市計画道路大手町下増田線で親子現場見学会開催

## ●12/14 南三陸町志津川西地区災害公営住宅新築工事 完成引渡し

南三陸町志津川西地区で整備を進めていた災害公営住宅が完成し、完成引渡しが行われました。完成した住宅は、鉄筋コンクリート造共同住宅74戸、木造戸建住宅8戸の計82戸ですでに入居が始まっています。

## ●12/19 主要地方道塩釜亘理線 早股寺島工区 開通

宮城県が岩沼市と連携して平成24年度から整備を進めてきた、主要地方道塩釜亘理線早股寺島復興道路(L=0.8km)が供用開始となりました。

早股寺島復興道路は、岩沼市復興整備計画にて新設する「第三次防衛ライン」市道相野釜蒲崎線へ連絡する避難ルートの一部となっています。

## ●12月3日 一般県道出島線（出島工区）開通

牡鹿郡女川町字出島にて、一般県道出島線 出島道路改良工事開通記念式典を開催しました。式典は、女川町長をはじめ、県及び町議会議員や出島架橋促進期成同盟会会員、島民の方など総勢約50名に出席いただきました。

一般県道出島線は、牡鹿郡女川町の北東に位置する離島「出島」の出島地区と寺間地区を結ぶ唯一の生活道路です。しかし、現道は「幅員が狭い」「カーブがきつい」「急勾配」であったため、通行に支障を来しており、異常気象時には倒木などにより通行が出来なくなる状況もありました。そのため、昭和63年度に道路改良事業に着手し、平成16年4月には一部区間が開通し、今回の開通により、本事業の全区間が完成となりました。



1月

## ●1月 仙台塩釜港の平成28年のコンテナ貨物取扱量が24万TEUを突破

## ●1/20 スカイマーク(株) 「仙台-神戸線」就航を発表

2017年7月1日(土)より、東北地方におけるスカイマーク(株)の新たな就航地となる仙台空港と、関西の拠点である神戸空港を結ぶ「仙台-神戸線」を1日2往復4便にて、就航することが発表されました。今回の就航により仙台空港のさらなる利便性の向上が期待されています。

## ●1/25 仙台空港-松島・平泉直行バス運行開始

## ●1/30 仙台国際貿易港首都圏セミナー開催

## ●1/31 一般県道清水浜志津川港線 「志津川復興道路」開通

## ●12月10日 都市計画道路大手町下増田線で親子現場見学会開催

名取駅周辺の市街地は、JR東北本線と増田川により東西交通が分断され、朝夕には著しい渋滞が慢性化していました。都市計画道路大手町下増田線は市街地中心部の渋滞緩和及び名取市の東西で開発の進む区画整理地区や仙台空港へのアクセス道路として、宮城県と名取市により平成19年度から整備を進めてきました。

見学会は、工事完成を目前とした名取中央高架橋の工事現場を地元住民の方々に紹介するイベントとして行われました。当日は、橋梁上にて、地元幼稚園、小中学生の描いた絵が展示され、完成前の橋を歩いたり、高所作業車の試乗、芋煮の提供など、多くのイベントが行われました。



## ●1月30日 仙台国際貿易港首都圏セミナー開催

仙台塩釜港の近郊には、自動車関連産業が集積しているほか、交通ネットワークの充実やモーダルシフトの進展等もあり、今後、さらなる発展が期待されています。このような状況を踏まえ、仙台塩釜港のさらなるコンテナ貨物の集貨や新規航路の誘致を目指し、今年度もセミナーが開催されました。

セミナーでは、宮城県による仙台塩釜港の紹介や国土交通省東北地方整備局、仙台塩釜港を利用する船会社による講演が行われました。



# 復興トピックス（平成29年2月～3月上旬）

2月

## ●2月 水害・土砂災害への備えに関する 要配慮者利用施設の管理者向け説明会

平成28年8月に発生した台風10号に伴う大雨により、岩手県の小本川が氾濫し、岩泉町の認知症高齢者グループホームにおいて多数の利用者が亡くなるという被害が発生しました。

これを受け、宮城県では、河川の浸水のおそれのある区域及び土砂災害のおそれのある区域に立地する要配慮者利用施設（社会福祉施設、病院、保育園等）の施設管理者を対象として、防災情報等に関する説明会を開催しています。

▲説明会については、  
防災砂防課ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sabomizusi/yohairyosetsumeikai.html>

## ●2/3 平成28年度宮城県住宅・社会資本 再生・復興フォーラム開催

3月

## ●3/8 官民協働により津波浸水表示板を設置

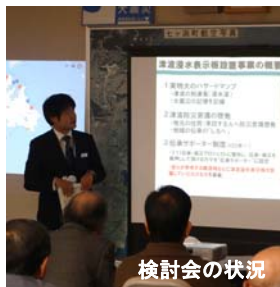
## ●3月8日

### 官民協働により津波浸水表示板を設置

県土木部では、「3.11伝承・減災プロジェクト」の取り組みとして津波浸水表示板の設置を推進しています。

県土木部と七ヶ浜町は、町の津波避難計画と連携して津波浸水表示板を設置するため、七ヶ浜町沿岸7地区の自主防災会と協働で津波浸水表示板の効果的な設置場所などについて検討会を実施してきました。

検討の結果、町内の公共施設に6箇所、民間施設（伝承サポーター制度）に12箇所の計18箇所に設置することになり、この度、七ヶ浜町津波避難計画と連携した津波浸水表示板の設置に至りました。



検討会の状況



設置状況

七ヶ浜町水産振興センター



設置完了

津波浸水表示板の設置は、「伝承サポーター制度」をご活用いただければ、民間施設でも設置できます。震災記録の伝承や風化防止のためにも県民の皆様のご協力が必要です。

▲「3.11伝承・減災プロジェクト」「伝承サポーター制度」については、防災砂防課ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.miyagi.jp/site/0311densyogensaip/>

## ●1月31日 一般県道清水浜志津川港線

### 「志津川復興道路」開通

南三陸町志津川地区で実施している被災市街地復興土地区画整理事業と一体的に整備を進めてきた、一般県道清水浜志津川港線「志津川復興道路」が、供用開始しました。

本路線は、南三陸町の中心市街地である志津川地区と町内の防災集団移転地とを接続するとともに、志津川地区において中心的な機能を持つ重要な幹線道路です。



## ●2月3日 宮城県住宅・社会資本

### 再生・復興フォーラム開催

本フォーラムは、本県における震災復興の取組を広く発信するとともに、その取組を宮城のさらなる発展に繋げ、伝承していくことを目的として、震災後から毎年開催しています。

今回のフォーラムでは、東日本大震災からまもなく6年を迎える今、被災3県における現在の復興・復興状況の報告とともに、集中復興期間の検証を踏まえ、今後取り組むべきことや、震災記憶の風化防止とともに大災害に備えた震災教訓の伝承のあり方について考えるため、コメンテーターに宮城学院女子大学学長の平川新様、コーディネーターにエフエム仙台防災・減災プロデューサーの板橋恵子様をお迎えし、パネルディスカッションを開催しました。



開会挨拶



パネルディスカッション



## ○記事に関する問い合わせ○

宮城県土木部土木総務課企画調整班

TEL : 022-211-3108

E-mail : [dobokgk1@pref.miyagi.jp](mailto:dobokgk1@pref.miyagi.jp)

H P : <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/>